

大雪山カムイミンタラジオパーク構想



上川アイヌの魔神伝説の詳細はこちらをご覧ください。



神居古潭の地形と伝説の関係はこちらをご覧ください。



魔神の足跡（ニツネカムイ・オ・ラオシマ・イ）

旭川市西端、神居古潭峡谷の石狩川沿いに、「魔神の足跡」と呼ばれる直径1m、高さ3mほどの巨大なポットホール（おう穴）があります。ポットホールとは、岩のくぼみにたまった砂や小石が川の流れにより回転し、長い年月をかけて岩に開けられた穴です。

上川アイヌの伝承によるとこの穴は、かつて英雄神サマイルと神居古潭を舞台に戦い敗れた魔神ニツネカムイの足跡とされています。

かたい1億年前の変成岩（地底の熱と圧力の影響を受けた岩石）を石狩川が侵食することで、魔神伝説のモチーフとなるさまざまな奇岩とともに神居古潭峡谷はつくられました。

石狩川自身の出口であると同時に、人々が上川盆地へ至るための交通の要衝かつ難所である神居古潭は、上川アイヌの「魔神伝説」が生まれた場所であると同時に、北海道第2の都市圏の成り立ちや現在の暮らしにも深く関わっている場所です。



旭岳スノーシューハイキングの様子はこちらをご覧ください。



今現在の大雪山旭岳の様子はこちらをご覧ください。



大雪山の四季

北海道最高峰 2291m の旭岳を含む大雪山系の山々では、7月になるとチングルマなどの高山植物がたくさんの花を咲かせます。8月の終わり頃から樹々の葉が色付き始め、9月中旬には日本一早い紅葉を見ることができます。

例年9月末頃に初冠雪が記録され、日本で最も早く雪の降る場所のひとつでもあります。山々に積もった雪は、石狩川をはじめとする無数の河川の源となります。

また、大雪山は現在も活動をつづける火山であり、積雪時には噴気孔のすぐそばまで近づくことができます。



大雪山に降った雪に端を発し、上川盆地へと流れ込む石狩川水系の豊かな水は、米をはじめとする多くの恵みをもたらします。

カムイミンタラエリア（上川地域）は道内でも有数の米産地です。短い夏が終わりに近づき、朝晩の涼しさを感じられるようになると、広大な田園も一面色づいて、9月中旬にはエリア内の各所で収穫がはじまります。

【大雪山カムイミンタラジオパーク構想について】

北海道中央部に位置する旭川市、鷹栖町、東神楽町、比布町、愛別町、上川町、東川町は、大雪山カムイミンタラジオパーク構想を推進しています。

アイヌ語でカムイミンタラ（＝神々の遊ぶ庭）と呼ばれる、大雪山とそのふもと一帯の豊かで雄大な自然や地形・地質を舞台に、上川アイヌの文化や明治期の街づくりの歴史が育まれてきました。当推進協議会では、このような自然や地形と歴史や文化との関わりを楽しみながら知ること、地域の魅力をより感じてもらえることを願って、様々な取り組みを行っています。

【アクセス】

- ・東京から旭川空港まで約100分
- ・札幌から旭川までJRで約90分
- ・旭川から大雪山旭岳ロープウェイ搭乗口までシャトルバスで約60分



大雪山カムイミンタラジオパーク構想推進協議会

（事務局：旭川市教育委員会内 TEL：0166-25-7190）